

# 水道事業

経営戦略の見直しについて

# 目次

1. 令和 5 年度決算の概要について（速報値）
2. 令和 6 年度当初予算の概要について
3. 今後の経営環境・財政見通しについて
  - (1) 経営環境
    - ① 給水人口
    - ② 年間総有収水量の見通し
  - (2) 財政見通し
    - ① 今後の整備計画について
    - ② 企業債残高の見通し
    - ③ 繰入金の見通し
    - ④ 当年度純利益と資金残高の見通し
    - ⑤ 給水原価・供給単価・料金回収率の見通し

# 1. 令和5年度決算の概要について（速報値）

● 市議会での決算認定をいただく前ですので、速報値をお伝えします。

科 目	令和5年度	令和4年度	比較増・減(△)	備 考
<b>収 益 (A)</b>	<b>2,312,617</b>	<b>1,957,445</b>	<b>355,172</b>	
営 業 収 益	1,774,710	1,627,396	147,314	
給水収益	1,716,049	1,578,969	137,080	○R4年度:隔月検針への移行調整で調定月数11か月、R5年度は12か月となったことによる増
その他の営業収益	58,661	48,427	10,234	○下水道使用料徴収事務負担金の増
営 業 外 収 益	458,236	325,127	133,109	
受取利息及び配当金	431	781	△350	○有価証券利息（埼玉県債利子）
他会計補助金	9,768	29,584	△19,816	○一般会計補助金（電力価格高騰支援分）（令和5年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業）
他会計負担金	175,015	28,312	146,703	○料金改定見送りに対する財源補てん150,000千円、総務省繰出基準に基づく一般会計負担金
長期前受金戻入	271,939	265,485	6,454	
雑収益	1,083	965	118	
特 別 利 益	79,671	4,922	74,749	○退職給付引当金を全額取り崩したことによる戻入益
<b>費 用 (B)</b>	<b>2,231,473</b>	<b>2,067,034</b>	<b>164,439</b>	
営 業 費 用	2,184,067	2,024,334	159,733	
原水及び浄水費	801,992	774,313	27,679	○緊急を要する施設修繕費、県水受水費の増（受水費719,540千円）
配水及び給水費	443,546	390,873	52,673	○緊急を要する修繕費の増
総係費	161,508	134,896	26,612	○包括業務委託料（量水器検定満期交換の増）、料金システム改修委託の増
減価償却費	713,659	712,246	1,413	
資産減耗費	63,362	12,006	51,356	○配水施設等解体撤去工事の増
営 業 外 費 用	47,406	42,700	4,706	
支払利息及び借入金借取諸費	31,498	35,238	△3,740	
消費税及び地方消費税	0	0	0	
雑支出	15,908	7,462	8,446	消費税調整額、能登半島地震被災地派遣費用
特 別 損 失	0	0	0	
<b>差 引 (A - B) = C</b>	<b>81,144</b>	<b>△109,589</b>	<b>190,733</b>	

# 1. 令和5年度決算の概要について（速報値）

- 市議会での決算認定をいただく前ですので、速報値をお伝えします。

【資本勘定】

【税抜き】  
(単位：千円)

科 目	令和5年度	令和4年度	比較増・減(△)	備 考
<b>資 本 的 収 入 ( D )</b>	<b>1,006,562</b>	<b>605,154</b>	<b>401,408</b>	
企業債	532,600	322,100	210,500	
出資金	155,981	107,501	48,480	
補助金	46,208	44,566	1,642	
国庫補助金	46,208	44,566	1,642	○水道水源開発等施設整備費国庫補助金（山口地区・原浄水場） ○岐阜県生活基盤施設耐震化等交付金事業補助金（水道管路緊急改善事業）
工事分担金及び負担金	157,670	91,189	66,481	
工事分担金	23,804	28,496	△4,692	
工事負担金	133,866	62,693	71,173	・下水道工事、道路新設改良事業に伴う水道管支障移転補償金、消火栓設置分
受託金	114,103	39,798	74,305	
工事受託金	114,103	39,798	74,305	・リニア関連水道施設詳細設計委託業務、用地取得
<b>資 本 的 支 出 ( E )</b>	<b>1,609,871</b>	<b>1,241,617</b>	<b>368,254</b>	
建設改良費	1,367,711	989,178	378,533	
上水道改良工事費	1,247,133	950,527	296,606	○主なもの ・恵下～手賀野送水管耐震化工事 85,723 ・県営送水管整備に伴う中津川栄町配水管耐震化工事 55,503 ・山口原浄水場急速ろ過機設置工事 99,167 ・中津川駅周辺管路更新事業(DB)関連 392,562
営業設備費	7,363	4,639	2,724	○固定資産購入費（災害対応用組立式給水タンク、水道料金検針機器等）
受託工事費	113,215	34,012	79,203	○リニア関連水道施設詳細設計、用地測量登記委託業務、用地購入
企業債償還金	242,160	252,339	△10,179	
過年度返還金	0	100	△100	
<b>差 引 ( D - E ) = F</b>	<b>△603,309</b>	<b>△636,463</b>	<b>33,154</b>	
補填財源				
当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	104,543	80,423	24,120	
繰越工事資金	24,200	29,165	△4,965	
過年度損益勘定留保資金	629,008	644,866	△15,858	
当年度損益勘定留保資金	—	—	—	
補填財源計	757,751	754,454	3,297	
資金残高	934,498	786,727	147,771	

## 2. 令和6年度当初予算の概要について

- 別紙：上下水道だより第21号（令和6年8月）をご覧ください。
- 収益的収支
  - ・ 今般の社会情勢における本市の物価高騰対策の一つである水道料金改定の見送りに伴い不足する財源補てんとして、3億円の補助金（市からの繰入金）を計上しました。今年度は2年度目となり、1億5千万円増額しております。
  - ・ 漏水が増加傾向にあるため、漏水調査を強化し漏水の減少を図ります。
- 資本的収支
  - ・ 配水管耐震化事業・・・安全・安心な水を安定して供給するため、老朽管更新工事及び道路改良等に伴う水道管布設工事では耐震管を使用します。
  - ・ 浄水場浄水機能改善事業・・・山口大沢浄水場に急速ろ過機を設置します。
  - ・ リニア中央新幹線関連受託事業・・・リニア関連施設へ給水を行う施設の詳細設計等を実施します。
  - ・ 中津川駅周辺管路更新事業・・・中津川駅周辺市街地における老朽管更新工事を設計施工一括発注方式による複数年契約で令和4年度から令和6年度の期間で実施しています。

### 3. 今後の経営環境・財政見通しについて

経営戦略の見直しについて、第2回、第3回でお示しした給水人口などの将来見通しについて、行政区域内人口の推計、昨今の物価高騰を踏まえ維持管理経費、整備費用の見直しを行いましたので推計等をお伝えします。

経営戦略は、公営企業が独立採算制のもと、安定した運営をするために策定する計画で、長期間（40年から50年間）の予測を行い、そのうち直近の短期間（10年間）の予測を収支計画として公表後、3年から5年ごとに見直しを行います。

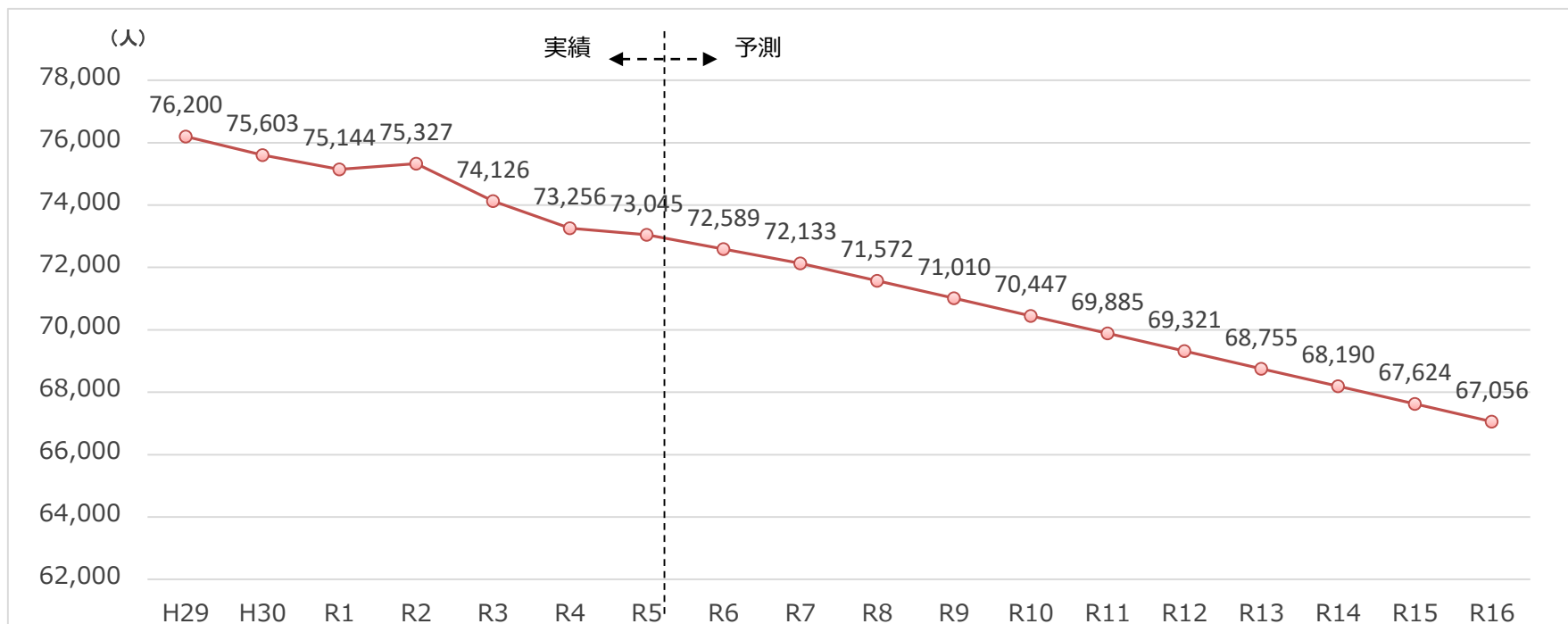
今回の改定は、平成28年度に平成29～令和8年度を計画期間として策定した経営戦略を令和7年度から令和16年度までの10年間の期間に見直しをするものです。

### 3. 今後の経営環境・財政見通しについて

#### (1) 経営環境

##### ①給水人口

- ・行政区域内人口の減少とともに、給水人口は、今後も減少の見通しです。
- ・令和16年度は、平成30年度から11.3%減少し、67,056人と予測されています。



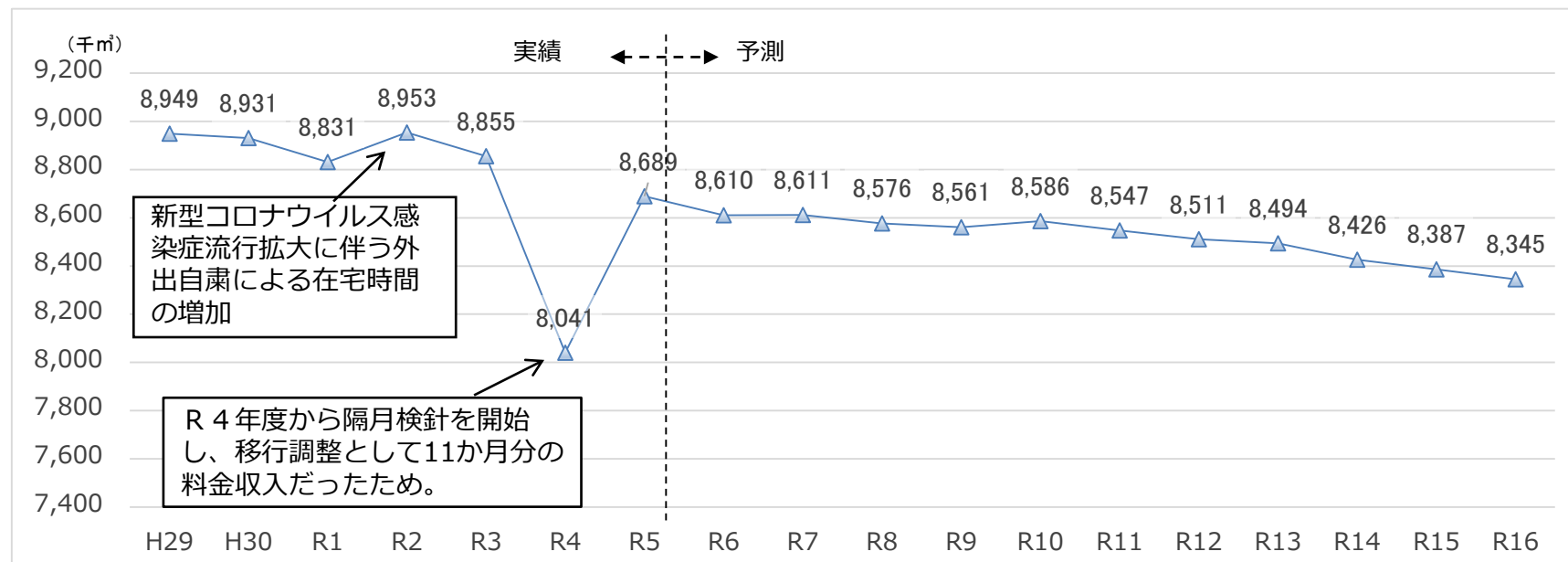
※令和5年度の値は、速報値です。

## 4. 今後の経営環境・財政見通しについて

### (1) 経営環境

#### ②年間総有収水量（水道料金算定の基礎となる値）

- ・総有収水量は、今後減少の見通しであり、令和16年度は平成30年度から6.6%減少し、8,345千 $\text{m}^3$ と見込んでいます。
- ・リニア中央新幹線車両基地の開設に伴い有収水量の増加を見込んでおりましたが、開設時期が未定であることから、今回の経営戦略の見直しにおいては、見込んでおりません。開設時期が公表されましたら、推計を見直すとともに、経営戦略の見直しも行う予定です。





## 4. 今後の経営環境・財政見通しについて

### (2) 財政見通し

#### ①今後の整備計画について

中津川市水道ビジョンに掲げる水道事業の基本理念「災害に強く、安心・安全で安定した水道水の供給」を実現するために、長期的な観点から水道施設の計画的な更新に努め、適切な資産管理に取り組みます。

～整備方針～

#### 1. 施設更新

- ・水道設備の更新順位を明確にし、計画的な設備更新を実施します。
- ・定期的な保守点検を行い、健全な設備を維持することにより突発的な事故を防ぎ安定供給を図ります。

#### 2. 管路更新

- ・既設管路の評価を実施することにより、費用の平準化を行い、継続的な管路更新を実施します。  
(年間、工事延長7 kmを目安とし、管路更新と同時に耐震化を実施します。)

#### 3. 変更認可に記載された事業

- ・水質改善など、認可を受けた事業を確実に実施し、安全な水道水の供給に努めます。

※リニア中央新幹線関連施設の整備について、第3回にご説明した整備計画に掲載しておりましたが、開業時期が未定であるため、今回の整備計画には掲載しておりません。開業時期等が公表されましたら整備計画を見直し、経営戦略の見直しを行います。

## 4. 今後の経営環境・財政見通しについて

水道施設の整備方針を基に、令和7年度から令和16年度の施設更新計画を策定しました。

～令和7年度から令和16年までの整備計画～

単位：百万円

			西暦	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034
			年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
整備区分	事業名称	内容	合計										
施設	老朽施設更新事業	設備（機械・電気・計装）	4,385	225	332	406	383	550	521	590	670	354	354
施設	老朽施設更新事業	配水施設（配水池等構築物）	270	50	0	0	0	0	0	0	0	110	110
施設	施設耐震化事業	実戸配水池耐震化	780	390	390	0	0	0	0	0	0	0	0
施設	蛭川地区ポンプ場更新事業	増圧ポンプ場更新 6か所	660	0	0	110	110	110	110	110	110	0	0
施設	遠方監視機器更新事業	市内全域の通信設備のクラウド化	422	141	120	68	93	0	0	0	0	0	0
	小計		6,517	806	842	584	586	660	631	700	780	464	464
管路	管路耐震化事業	恵下第二配水池～手賀野配水池送水管	200	20	180	－	－	－	－	－	－	－	－
管路	老朽管路更新事業	管路更新	5,388	502	502	502	696	697	497	498	498	498	498
管路	西部テクノパーク関連事業	管路更新	57	0	0	57	0	0	0	0	0	0	0
管路	管路改良事業（下水道等他事業関連）	管路更新	606	66	60	60	60	60	60	60	60	60	60
	小計		6,251	502	502	619	696	697	497	498	498	498	498
認可	神坂地区浄水場浄水機能改善事業	管路、機械および装置	210	0	0	79	131	0	0	0	0	0	0
	小計		210	0	0	79	131	0	0	0	0	0	0
整備費用合計			12,978	1,394	1,584	1,282	1,473	1,417	1,188	1,258	1,338	1,022	1,022

【施設整備計画を策定するにあたり】～財源の考え方について～

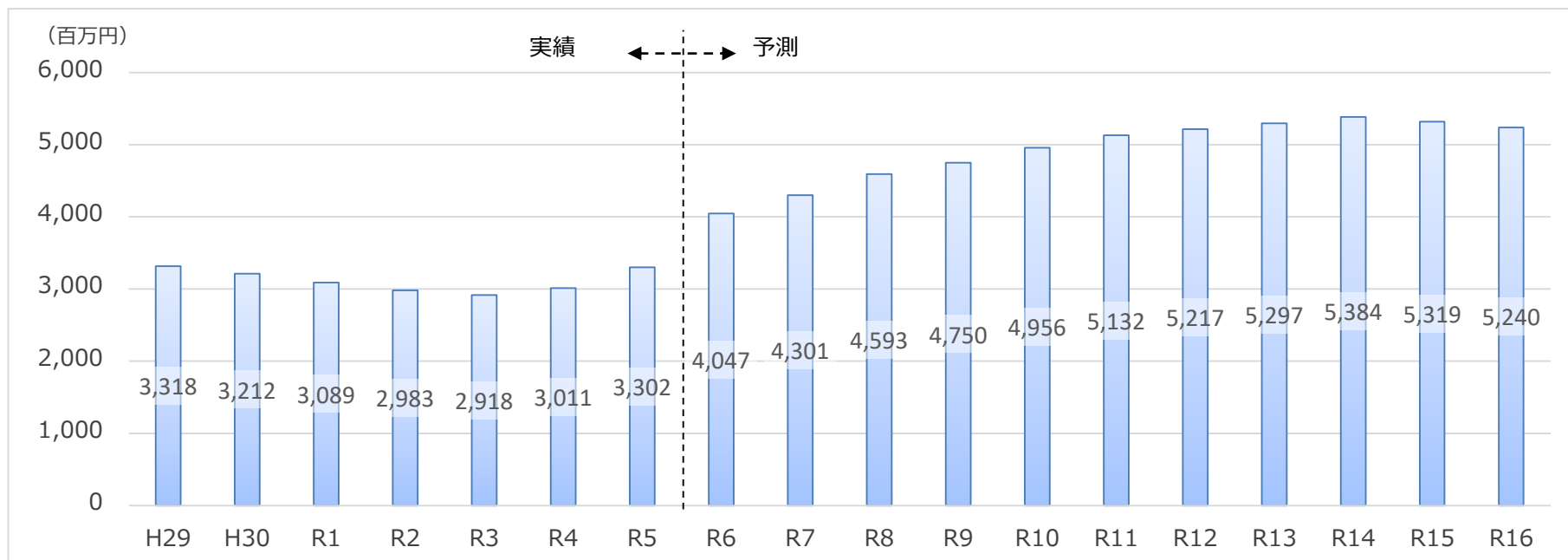
- ・今回策定した整備計画は、新たに整備する施設、及び現在使用している施設の更新経費に昨今の物価高騰を踏まえて算出。
- ・更新費用について、法定耐用年数での更新ではなく、施設の劣化具合等を加味し施設の長寿命化施策を講じた長寿命化ケース（法定耐用年数の約1.5倍）で試算。（令和2年度の答申に基づいたもの）
- ・整備事業の財源は、大きく「補助金（負担金）」「企業債（借金）」「自己資金」の3つがあり、このうち、補助金を除く財源について、どこまでを企業債（借金）で賄い、水道料金を原資とする自己資金で賄うかを考える必要がある。今回の整備計画は、整備費用に対する借金の割合（企業債充当率）は、補助金分を除く建設改良投資の35%を目途に、借金で賄うこととして試算。（令和2年度の答申に基づいたもの）

## 4. 今後の経営環境・財政見通しについて

### (2) 財政見通し

#### ② 企業債残高の見通し

- ・ 整備計画により推計した企業債残高の見通しです。
- ・ 建設改良費の35%程度を企業債で賄う予定ですが、老朽施設の更新の拡大に伴い、企業債残高は増加する見込みです。



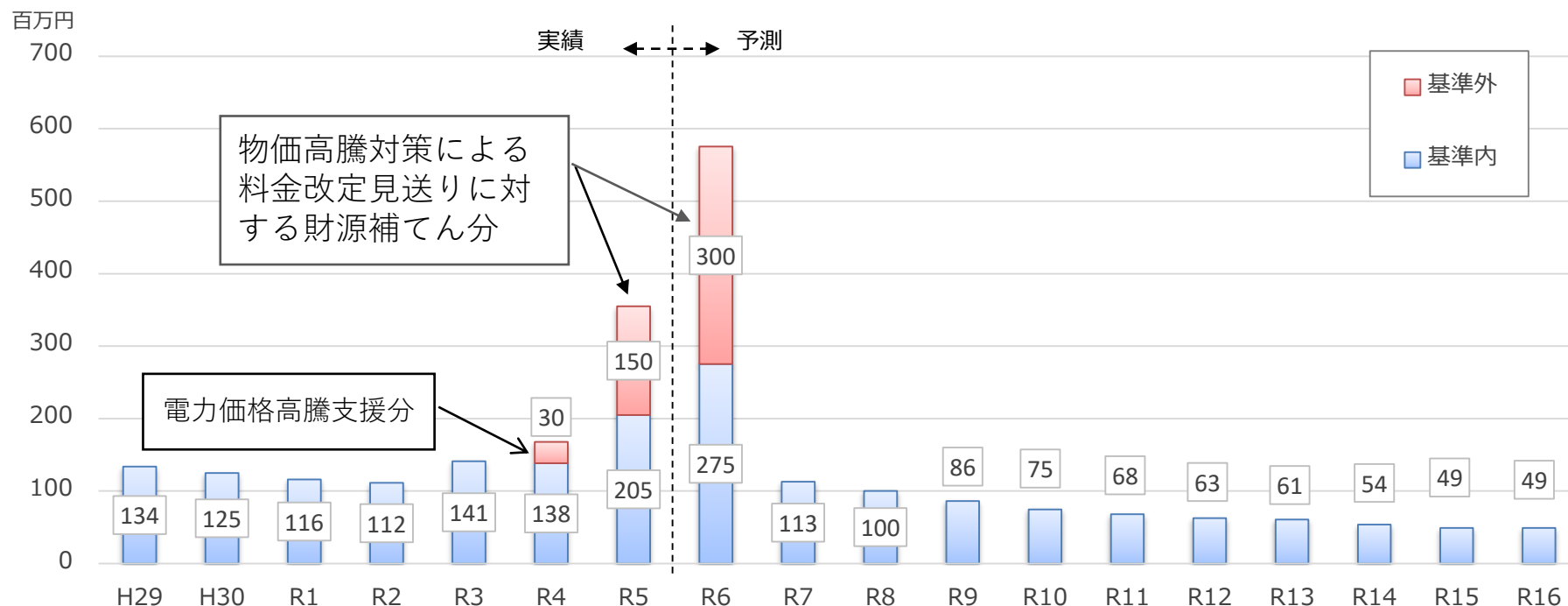
- 企業債残高は徐々に減少しているが、近年はほぼ横ばいです。
- 今後、老朽施設の更新を拡大すれば、自己資金だけでは資金が不足するため、新たに企業債の借入れを行う必要があります。

## 4. 今後の経営環境・財政見通しについて

### (2) 財政見通し

#### ③繰入金の見通し

- ・一般会計からの繰入金の見通しです。
- ・公営企業は、独立採算制の原則のもと、水道料金収入により運営しておりますが、企業債の償還元金、利子などに対し、税金で賄うものとして基準を設け、その基準を満たすものを市から繰り入れをしております。  
※令和4、5、6年度は繰入基準以外の繰り入れがあります。令和7年度以降は現時点では見込んでおりません。

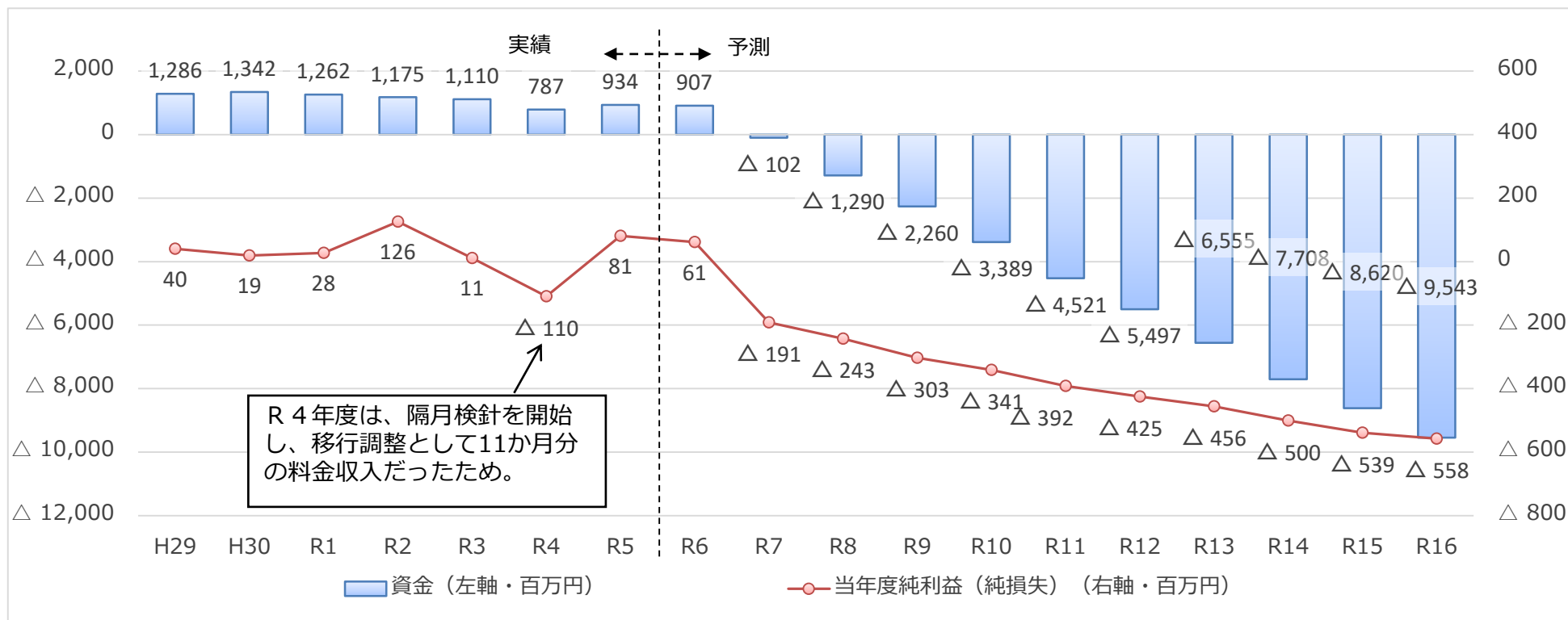


## 4. 今後の経営環境・財政見通しについて

### (2) 財政見通し

#### ④当年度純利益と資金残高の見通し

- ・令和7年度から当年度純損失が発生する見通しです。
- ・財源の35%を借金で賄うとした場合、令和7年度に資金不足が生じます。



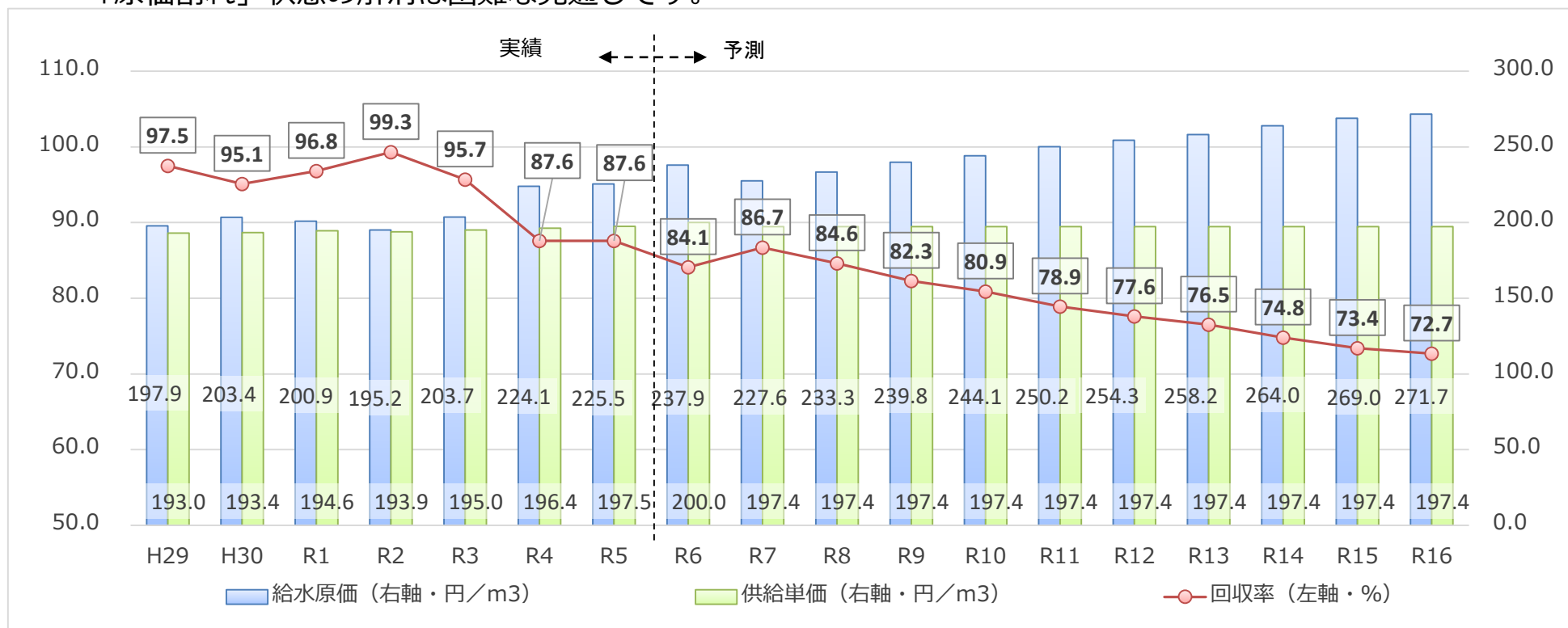
注1：令和5年度の値は、速報値です。

## 4. 今後の経営環境・財政見通しについて

### (2) 財政見通し

#### ⑤給水原価・供給単価・料金回収率の見通し（現行料金を維持した場合）

- ・設備投資に伴う減価償却費の増加により、給水原価は増加していく見通しです。
- ・費用を料金で回収している割合を示す「料金回収率」は100%を下回り続け、料金改定を行わない限り、「原価割れ」状態の解消は困難な見通しです。



## ご審議いただきたいこと

安全で安心な水道水を安定してお届けするためには、老朽管路や設備等の更新が必要です。

お示した整備計画では、令和7年度に資金不足が発生する見込みとなります。財源の確保策として料金改定を避けることは難しいと事務局では考えます。

また、老朽管路や設備等の更新の際に企業債を借り入れていますが、料金の改定率（値上げ率）を少しでも抑えるために、借り入れの割合を増やす事も必要と考えます。

整備計画、整備方針、企業債の借り入れ割合に対するご意見をお願いいたします。

いただいたご意見を参考に、更新費用等を精査して経営戦略の見直し案を作成し、次回以降の審議会でご説明します。